

# TamaHome®

## 第25期 株主通信

2022年6月1日 ~ 2023年5月31日



2期連続で受注・着工・売上〈トリプル〉  
**10,000棟 達成!**

タマホームは、おかげさまで  
グループ連結売上高 **2,500億円**  
を達成しました。

タマホーム株式会社  
証券コード: 1419

タマホーム

検索

<https://www.tamahome.jp>  
スマートフォンでもご覧いただけます



## 会長メッセージ

# 「創業25周年」を迎え、 これからもお客様に支持され、存続し 成長し続けていくことを目指します。

代表取締役会長

玉木 康裕



## ハウスメーカーとして掲げる経営理念の実現へ

日本各地で発生している様々な自然災害によって被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災地域の1日も早い復興と皆様の安全をお祈りいたします。

2023年6月3日をもって、当社は「創業25周年」を迎えることができました。株主の皆様、お客様、お取引先様など全てのステークホルダーのご支援、ご愛顧の賜物と心より御礼申し上げます。

また、当期は東京証券取引所、並びに福岡証券取引所への上場10周年の節目の年となります。ここに至るまでの当社の道のりは決して平坦なものではありませんでした。「より良いものをより安く提供することにより社会に奉仕する」という創業時からの経営理念のもと、高品質かつ適正価格の住宅の提供に努めてまいりました。この25年間、当社が急成長とともに持続的成長を成し得てきた理由は、当社の経営理念に基づく取り組みがお客様のニーズに合致していたからに他ならないと確信しております。「建てた後の幸せまでも育む家づくりを可能にする住宅会社」を一つの目指すべき姿と捉え、これからもお客様第一の経営に挑戦し続けてまいります。

おかげさまで、当期の業績は、売上高・利益ともに5期連続で過去最高を更新しました。

また、好業績に満足することなく、次世代のニーズを見据えて、2023年4月には、高耐候・高耐久・高断熱・高気密・

省エネルギー性能に非常に優れた新商品「笑顔の家」の販売を開始しました。外壁だけでなく、天井や床まで、家全体を高性能断熱材で包むことで、高度な断熱性能を実現しました。美観を保ち(30年間)、一年を通じて、家全体で快適な室温を保てる「夏涼しく、冬暖かい」住まいを実現しています。また、未来を見据え、25年後には当たり前の省エネルギー基準を早くも実現しています。

建築物の躯体と設備に徹底した省エネルギー手法を導入し、地球環境への配慮と同時に、住環境をより快適にする私たちの事業が、多くのお客様の住宅に対する思いにお応えできることは大きな喜びです。同時に株主の皆様の厚いご支援の賜物だと心から感謝しております。

## 持続可能な社会に向けての取り組み

今後とも社会に求められる事業を継続していくため、私たちタマホームは、お客様、従業員、お取引先様、地域社会、地球環境という5つの場において豊かな関係性を育むべく、CSR基本方針「5つのHappy」の取り組みを進めています。

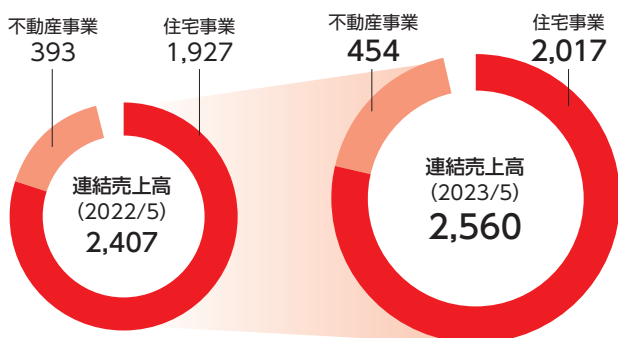
その中で、従業員の心身の健康増進のための取り組みが評価され、経産省及び日本健康会議より「健康経営優良法人2023」(大規模法人部門)に認定されました。アンバーサリー休暇制度、リフレッシュ休暇制度、時間単位有休制度など、多様な休暇制度を導入しました。全社員対象のストレスチェックテストを行うなど、従業員の健康管理を経営的な視点で捉え、戦略的な取り組みとして推進しています。

また、地球環境と次世代のための取り組みとして、花粉の出にくい「花粉症対策苗木」の植林を実施しています。材木流通を通してスギを「伐(き)って使う」ことでスギ花粉量を減らし、品種改良で花粉の出にくくなったスギを「植える」ことで、徐々に「花粉の少ない森」へと変えていきます。

地域社会の皆様とのつながりも重要です。2022年9月に発生した「令和4年台風15号」で断水被害が続いた静岡県静岡市清水区に対して、当社で備蓄していた飲料水、お茶、食料などの支援物資を贈呈いたしました。今後も自然災害の増大が予想され、タマホームでは引き続き、全社を挙げて地域社会の安全・安心の推進に取り組む所存です。

私たちは常にお客様の満足と幸福を追求し、社会に貢献する使命をもっております。株主の皆様には今後ともタマホームの成長と発展のため、引き続き、ご指導とご支援をいただければ幸いです。

## ■ 事業別売上高構成 (単位: 億円)



住宅事業では、注文住宅において地域限定商品及び期間限定商品を中心に受注が堅調に推移。リフォームは住宅設備の交換需要の取り込みなどを積極的に展開した結果、増収増益。不動産事業では、戸建分譲の引渡棟数が増加。オフィス区分所有権販売も売上に寄与。

# お客様の“Happy Life”の実現のため “Happy Home”を提供し続け、 これからも持続的成長を実現します。

代表取締役社長 玉木伸弥



### 2期連続、トリプル10,000棟(受注・着工・売上)を達成!

株主の皆様には、日頃より当社事業へのご理解とともに格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

2023年5月期においては、国内住宅業界における2022年の新設住宅着工戸数は85.9万戸(前年比0.4%増)と総戸数で微増となりました。一方で、持ち家着工戸数は25.3万戸(同11.3%減)と減少し、予断を許さない事業環境が続きました。

こうした環境下において、当社の営業状況は、三つの早期(受注・着工・売上)対応の推進により、住宅事業を中心に業績を順調に伸ばし、受注棟数、着工棟数、売上棟数が各々10,000棟を超え、2期連続のトリプル10,000棟超えを達成しました。

これもひとえにご支援いただきました株主の皆様のおかげです。ありがとうございます。

### 過去最高の売上高と利益を達成!

住宅事業は、注文住宅事業において、戦略商品である地域限定商品及びコストパフォーマンスを重視した期間限定商品の受注が堅調に推移したことに加え、月間着工棟数の平準化や1棟当たり販売単価の上昇傾向が増収と利益率の改善に寄与してまいりました。また、リフォーム事業は、入居後10年を経過したお客様を中心に、保証延長工事や住宅設備の経年劣化による交換需要の取り込みなどの受注活動を積極的に展開しました。

不動産事業は、戸建分譲を中心に販売を伸ばし、売上棟数は1,247棟(前期比31.1%増)となり、マンション及びオフィス区分所有権販売も不動産事業の売上に貢献しました。結果として連結業績は、売上高2,560億円(同6.4%増)、営業利益132億円(同11.5%増)、経常利益134億円(同9.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益87億円(同5.2%増)となり、当社グループの中核事業である注文住宅事業、戸建分譲事業、リフォーム事業、不動産事業で業績が順調に伸び、過去最高の業績を達成しました。

株主の皆様、誠にありがとうございます。

### 持続的な成長を背景に株主還元を積極化し、 企業価値増大へ

当社では、中期経営計画「タマステップ2026」(2022年5月期～2026年5月期)が始動して2年が経過しました。2023年5月期の当初計画を売上高2,460億円、営業利益130億円、経常利益130億円、親会社株主に帰属する当期純利益84億円としておりましたが、結果は計画数値を上回る好業績となりました。株主の皆様、誠にありがとうございます。

また、株主還元にも積極的に取り組みました。自己株式の取得(上限10億円)に加え、期末配当を当初の予定から増配し、最終的に1株当たり180円(前期比55円増配)、配当性向を59.9%とさせていただきます。これらの動きに呼応して、株価も上昇し、当社企業価値の指標となる時価総額が上場以来、初めて1,000億円超えを実現しました。これも日頃よりご支援いただいております株主の皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

当社グループは、「タマステップ2026」のもと、引き続き中核事業である住宅事業を中心に、持続的な成長と、強固な経営基盤の形成に向けた取り組みを進めてまいります。

注文住宅事業、戸建分譲事業、リフォーム事業、不動産事業の4つの事業を成長エンジンとし、住宅事業においては、付加価値の高い商品展開に注力するとともに一層のシェア拡大に努め、非住宅事業においては、事業機会を適切に捉えながら収益性を高めていくことで、業績の拡大を図ってまいります。

「タマステップ2026」計画3年目となる2024年5月期連結業績は、売上高2,570億円、営業利益141億円、経常利益141億円、親会社株主に帰属する当期純利益92億円を予想しています。おかげさまで増収・増益基調を維持できる見通しとなり、2024年5月期の期末配当は、1株当たり185円(当期比5円増配)を予定しています。

当社はこれからもお客様満足度の一層の向上を目指し、「すべては“Happy Life”のために“Happy Home”を提供する」というミッションステートのもと、お客様のため、株主の皆様のため、常に感謝の気持ちとともに社員一丸となって邁進してまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

## 業績・財務情報

## 当期決算のポイント

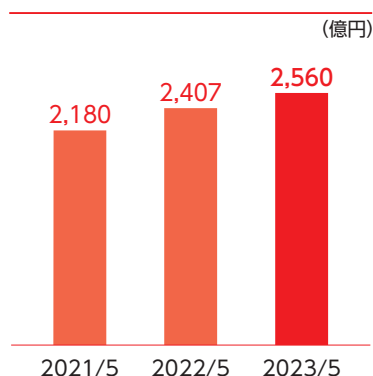
当期決算は、5期連続で売上高及び利益が過去最高を更新しました。  
引き続き、新設住宅着工棟数No.1を目指し、注文住宅事業を中心に当社グループの中核事業である4つの事業を推進するとともに、持続的成長を実現し、株主の皆様への利益還元に努めてまいります。

## 業績ハイライト

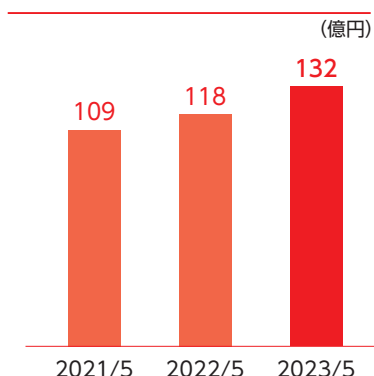
(億円)

	2023年 5月期計画(当初)	2023年 5月期実績	増減率 (%)
売上高	2,460	2,560	4.1
営業利益	130	132	2.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	84	87	3.8

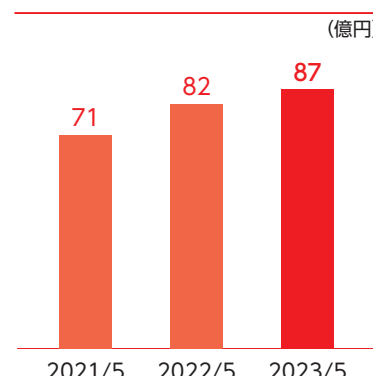
## ■ 売上高



## ■ 営業利益



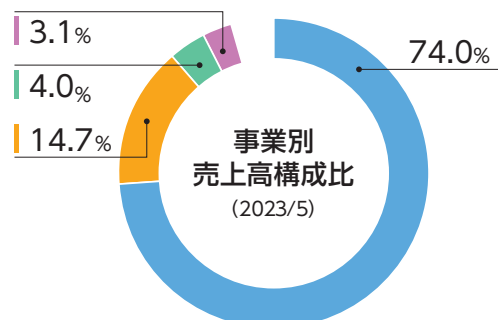
## ■ 親会社株主に帰属する当期純利益



## タマホームの中核事業

(億円)

	2022年 5月期	2023年 5月期	増減率 (%)
■ 注文住宅事業	1,812	1,895	4.6
■ 戸建分譲事業	282	375	33.0
■ リフォーム事業	95	102	7.9
■ 不動産事業 (戸建分譲事業を除く)	111	78	△29.5



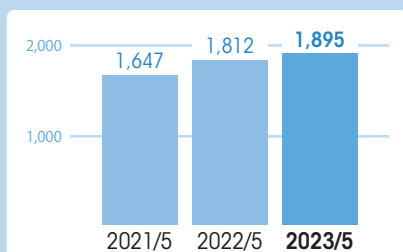
## 注文住宅事業

注文住宅の建築請負

木造注文住宅の建築事業を主事業としており、全国のお客様にタマホームの家を実際に「来て、見て、触って、ご納得いただく」ために、現在47都道府県に展示場を設置し、モデルハウスを展開。



売上高  
**1,895** 億円



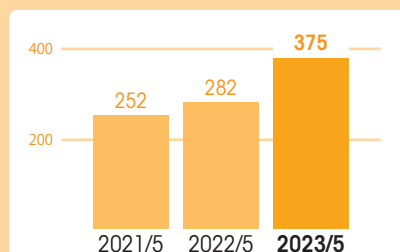
## 戸建分譲事業

分譲宅地・戸建分譲の販売

分譲宅地・戸建分譲の仕入・販売を行うことで、家づくりからまちづくりへ街並みや景観にも配慮した総合的な住環境を提供。



売上高  
**375** 億円



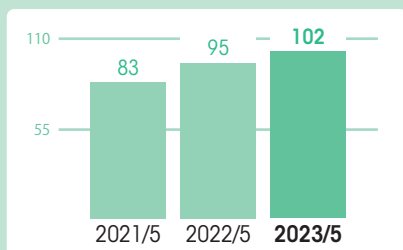
## リフォーム事業

リフォーム工事等の請負

入居後10年を経過したお客様を中心に保証延長工事等のリフォーム受注活動を展開。豊富な商品ラインナップと万全なサポート体制で、快適かつ安心のリフォームを提供。



売上高  
**102** 億円



## 不動産事業

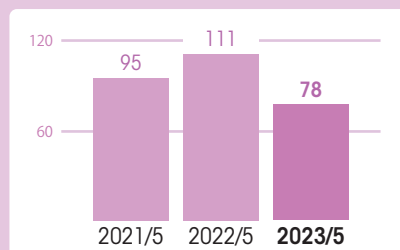
(戸建分譲事業を除く)

マンションの企画・開発・販売 / オフィスビルの転貸事業 / オフィス区分所有権販売事業

新築分譲マンション事業、中古マンションのリノベーション販売やパワーオフィスメント事業(オフィスサブリース、オフィス区分所有権販売)など幅広い分野で展開。



売上高  
**78** 億円



特集：新商品のご紹介



25年後の当たり前の基準、G3水準UA値0.23W/(m<sup>2</sup>・K)を実現した、高耐候・高耐久・高断熱・高气密・省エネ仕様の住まいを“自由設計”の商品として販売



POINT 1 ダブル断熱工法で「夏涼しく、冬暖かい」住まいを実現

「笑顔の家」では、「外壁ダブル断熱」「基礎ダブル断熱」に加えて「樹脂サッシ+Low-Eトリプルガラス」を採用。家をすっぽり覆い「断熱性能」と「気密性能」を向上させることで、熱損失を防ぎ室内の温度むらさが小さくなり、夏も冬も快適に暮らすことができます。

※UA値：外皮平均熱貫流率[W/(m<sup>2</sup>・K)]

※断熱地域区分6・7地域での水準値

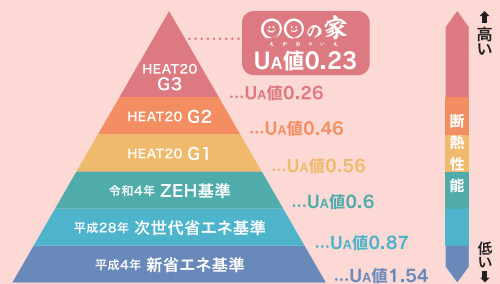
※UA値は、プラン、その他諸条件により異なります。また、断熱地域区分1・2・3地域はG2レベルに該当します。

《HEAT20》一般社団法人「20年先を見据えた日本の高断熱住宅研究会」が「よい建物や住宅を実現する」ことを第一目標として外皮の断熱に焦点を当て、3つのグレード(G1、G2、G3)のUA値を制定(グレードは数字が高いほうが性能が高い)。

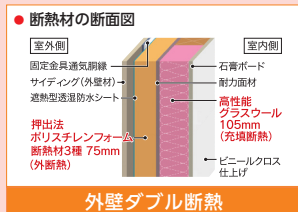
[出典元：(一社)20年先を見据えた日本の高断熱住宅研究会]

● 省エネ基準レベルとUA値

UA値は数値が小さいほど断熱性能は高くなります。

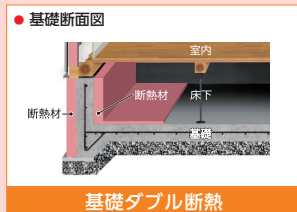


高断熱・高气密にするための標準設備



外壁ダブル断熱

ポリスチレンフォームを使った外断熱に加え、高性能グラスウールの充填断熱で、外壁面からの熱の出入りを大幅に削減。エアコンなどのエネルギー消費を抑え、電気代も大幅に節約します。



基礎ダブル断熱

基礎をしっかり断熱することで、床下のベタ基礎部分が熱を蓄えて、冬でも床下からの冷気の侵入を防ぐので、開放的な間取りでも快適に過ごせます。



樹脂サッシ+Low-Eトリプルガラス

窓を外気温からの影響を受けにくい樹脂サッシ+Low-Eトリプルガラスにすることで、室内を快適な室温に保ちます。また、エアコンなどのエネルギー消費も抑えられるので電気代の大幅な節約になります。

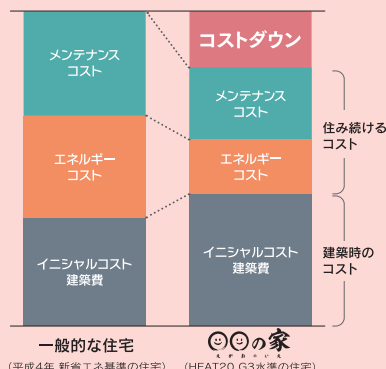


高断熱玄関ドア

玄関ドアの断熱性能を高めることで、玄関ドア自体からの熱の出入りを大幅に削減。快適で光熱費も抑えられた住環境を目指します。

POINT 2 「高耐候・高耐久」と太陽光発電で将来的なコストを削減

● トータルコストの比較



高性能な家は、その分コストがかかるため、建築時の価格が上がってしまうのは事実です。「笑顔の家」では品質を保ちながらも建築時のコストを可能な限り圧縮し、さらに平成4年新省エネ基準の住宅と比べ、エネルギー効率を充分に活かした仕様で「エネルギーコスト」の削減と高耐候・高耐久仕様により「メンテナンスコスト」を大幅に削減することが可能です。

《住み続けるコスト》

- 高耐候・高耐久によりメンテナンスコストの軽減
- 高断熱・高气密によりエネルギー効率増加によるコスト削減
- 太陽光発電により買う電気コスト削減

《建築時のコスト》

- 高性能・高品質な分、建築時コストUP
- 太陽光発電の設置コストUP
- 防災性が高い分、建築時コストUP

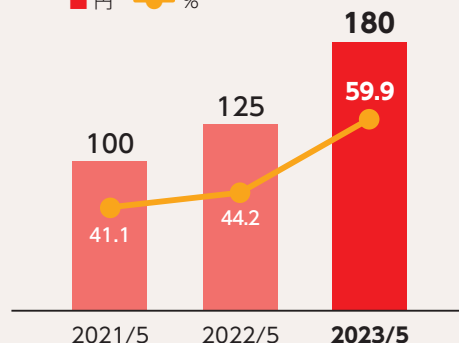
## 株主還元について

### 配当

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと認識し、経営成績に応じて株主の皆様への利益還元を継続的にを行うことを基本方針としています。2023年5月期の年間配当金は、2022年5月期と比べ55円増配し、1株当たり180円とさせていただきます。なお、2024年5月期の配当は、1株当たり185円を予定しています。

### 配当金 / 配当性向

■ 円 ● %



### ■ 会社概要

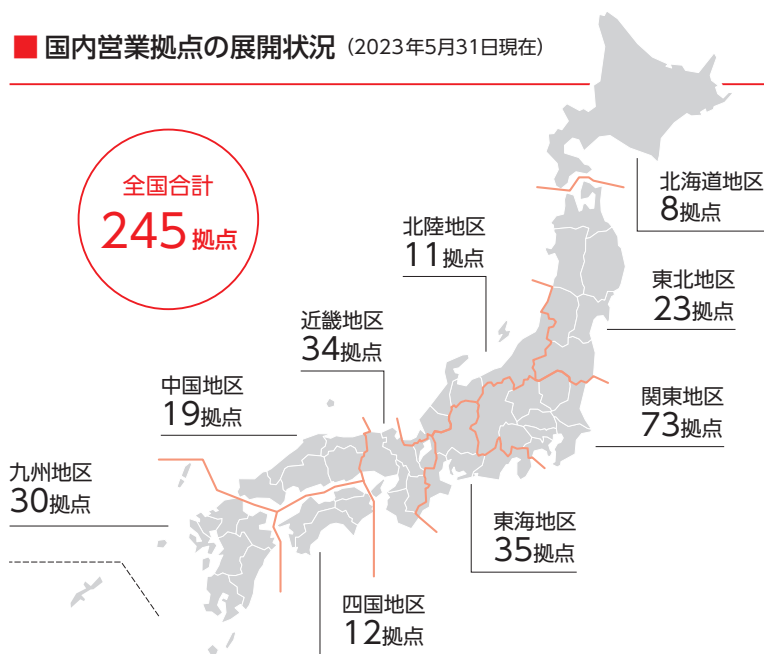
商号	タマホーム株式会社
設立	1998年6月3日
資本金	43億10百万円
従業員数	連結3,329名
グループ会社	連結13社

### ■ 役員 (2023年5月31日現在)

代表取締役社長	玉木 伸 弥
代表取締役会長	玉木 康 裕
取締役副社長	北 林 謙 一
専務取締役	直 井 浩 司
取締役	加 賀 山 健 次
取締役	小 島 俊 哉
取締役	柴 田 秀 稔
取締役	竹 下 俊 一
取締役 (社外)	金 重 凱 之
取締役 (社外)	近 本 晃 喜
監査役	玉 木 克 弥
監査役 (社外)	幣 原 廣
監査役 (社外)	鴛 海 量 明

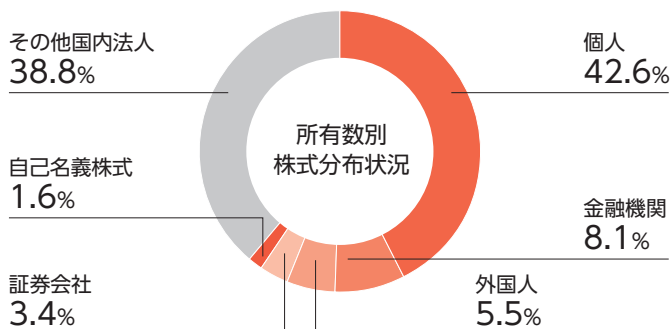
※金重凱之、近本晃喜、幣原廣、鴛海量明の4氏は、東京証券取引所及び福岡証券取引所の定めに基づく独立役員要件を満たした独立役員であります。

### ■ 国内営業拠点の展開状況 (2023年5月31日現在)



### ■ 株式の状況 (2023年5月31日現在)

発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式総数	29,455,800株
株主数	48,580名 (単元未満株所有株主を含む)



## ■ 株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃からのご支援への感謝と、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主様に中長期的に当社株式を保有していただくこと、及びより多くの皆様に当社の事業へのご理解をいただくことを目的としています。

対象は毎年11月30日及び5月31日現在の株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上の当社株式を保有されている株主様となります。

### 【概要】

「株主様限定 特製クオ・カード」を贈呈いたします。

保有株式数	保有3年未満	保有3年以上
100株以上	500円分	1,000円分

## 株式保有期間に関するご注意

株主名簿に記載されている株主番号が変更されると、保有期間が中断されてしまいますのでご注意ください。

下記の事項に該当する場合は、当社の株主名簿に記載されている株主番号が変更となる可能性がございますので、ご注意ください。株主番号の変更の有無については、株式をお預けの証券会社にお問い合わせください。

### 【株主名簿に記載されている株主番号が変更となる可能性のある事例】

#### ▶ 株主名簿の登録が変更された場合

- ・ 婚姻や転居により、株主名簿に記載の氏名・住所が変更となった場合
- ・ 相続などにより株式の名義人が変更となった場合
- ・ 株式をお預けの証券会社を変更した場合

#### ▶ 株主名簿の登録から外れた後、再度登録された場合

- ・ 証券会社の貸株サービスをご利用されている場合\*
- ・ 保有株式を全て売却し、権利付最終日までに同じ銘柄の株式を買い戻した場合
- ・ お預けの証券会社で保有株式を全て売却し、別の証券会社で同じ銘柄の株式を購入した場合

\* 貸株サービスをご利用された場合、株式の所有権が貸出先に移転するため株式の名義が変更となります。なお、貸株をご本人の名義に戻した時点で新たに株主番号が割り当てられる可能性があります。

## ■ IRカレンダー



## ■ 株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1-3-3 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
定時株主総会	8月中	特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
基準日	5月31日	郵便物送付先 電話お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
公告掲載方法	電子公告により行います。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。	取扱店	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
単元株式数	100株		

(ご注意) 証券会社に口座をお持ちの場合、お取引の証券会社へお申出ください。未払配当金の支払、支払明細発行については、「特別口座」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・取扱店をご参照ください。

タマホーム株式会社 経営企画部 〒108-0074 東京都港区高輪3丁目22番9号 TEL: 03-6408-1200 FAX: 03-6408-1210

当社の中期経営計画、業績・財務情報、株主優待制度、株主基本情報など、詳しい情報につきましては、お手数ではございますが、当社ホームページ「企業・IR情報」内の「IR情報」をご覧ください。

